

事業名：障がいがあってもなくても、やりたいことをやってみよう！  
団体名：一般社団法人 INCREW

## 1 事業内容

### 【事業経過】

月 日	実施内容	場 所	参加人数
6月1日	企画会議(タイムテーブル作成・申し込みフォーム作成依頼・チラシ作成依頼)	INCREW事務所	5人
6月5日	企画会議(申し込みフォーム作成等)	INCREW事務所	3人
6月12日	講師派遣依頼・HP掲載	INCREW事務所	3人
6月13日	現地下見・打合せ・チラシ配置	竹野浜海水浴場 たけの観光協会	3人
7月3日	現地下見・関係機関打合せ	竹野浜海水浴場	3人
7月10日	保険加入手続き・参加者リスト作成・講師打合せ	INCREW事務所	3人
7月12日	最終打合せ	INCREW事務所	5人
7月13日	海で遊ぼう(1日目) ～ヒッポキャンプでフロート体験とカヌー体験～	竹野浜海水浴場 (青井浜わんわんビーチ)	当事者家族21名 見学6名
7月14日	海で遊ぼう(2日目) ～ヒッポキャンプでフロート体験とカヌー体験～	竹野浜海水浴場 (青井浜わんわんビーチ)	当事者家族15名 見学2名
7月31日	夏の体験会収支報告・反省会・HP更新	INCREW事務所	3人
9月25日	冬の体験会打合せ	INCREW事務所	3人
10月31日	冬の体験会関係機関への打合せの連絡	INCREW事務所	3人
12月3日	体験会打合せ・現地下見	アップかんなべ事務所	2人
12月18日	企画会議(テーブル作成・申し込みフォーム作成・チラシ作成)	INCREW事務所	3人
1月12日	現地下見・打合せ	アップかんなべ	3人
1月13日	現地下見・打合せ	おじろスキー場	2人
1月19日	雪で遊ぼう！	全但バス但馬ドーム	当事者家族9名 見学3名
1月25日	デュアルスキービー体験会	アップかんなべスキー場	当事者家族3名 見学2名
2月2日	デュアルスキービー体験会	おじろスキー場	当事者家族10名
2月12日	冬の体験会収支報告・反省会・HP更新	INCREW事務所	5人

## 2 事業の効果

### (1) 団体(組織)内の効果

リピーターの参加者の方が増え、口コミで新しい参加者さんも増えた。  
体験活動はもちろんですが、「INCREWのみんなに会いに来ました」と言ってもらえるようになってきた。一人ひとりへの丁寧な関わりの中で、「また来たい」と思ってもらえる環境を提案し提供できるようになってきた。口コミで新規の参加者さんへ繋がり、また京阪神をはじめとする障がい者団体や参加者さんの所属する協会などと繋がり、多くのお問い合わせをいただいた。今回のイベントには体調不良や天候の関係で参加ができなかつた方からも、「次のイベントに参加しますね」と嬉しいお言葉をいただいた。

## (2) 地域への波及

地域の特別支援学校の教員、市役所職員、社会福祉協議会職員、福祉事業所などの方の見学があった。夏のイベントも冬のイベントも問い合わせが増えてきたことから、潜在的なニーズを感じる。

当初対象にしていた肢体不自由児とそのご家族方だけではなく、発達障害の子どものご家族の問い合わせが増えてきた。大人の発達障害の方の問い合わせも増え、一人で参加される方もおられ、新しいニーズへの対応が求められた。今後、一人で参加される方への受付時のやりとりや、当日のフォローできる体制を整える必要性を感じた。

今シーズンは試行錯誤しながら自分たちができる対応の確認と見直し、各専門団体との連携や協力をさらに強くしていく必要があり、今までよりもたくさんの方々のご協力をいただくこととなった。

## 3 協働の相手方・協働内容

NPO 法人 ふろじえくと Plus	ヒッポキャンプレンタル 車いすユーザー参加者のサポート
ひょうごパラスポーツ指導者協議会	パラスポーツ関係者への周知、実地見学、サポート
たけの観光協会	優先駐車場や開催場所の調整、地元関係者へ開催周知等
日高神鍋観光協会	雪遊び体験での機材提供 スキー場連携への協力 開催地域への周知
インクルーシブ野外教育研究所	デュアルスキーパイロットの技術向上と安全管理技術の提供

## 4 今後の課題等

### (1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等

自主事業の拡大が少しずつできてきた。継続して自主事業の取り組みを強化していく。  
今後も受け入れ対象者の拡大とフィールドの拡大を目指す。  
活動メンバーの拡大と地域の専門職の方々との連携の強化をしていく。

### (2) 地域活動を拡大していくための工夫等

活動単体だけではなく、食事、宿泊、温泉なども含めた旅行商品としての提案をしていく。  
地域の事業者と連携しながらユニバーサルツーリズム事業としての展開ができるような仕掛けの開拓。  
高齢者などの避難なども見越した、防災でのアウトドア機材の活用方法やの共有や地域コミュニティとの連携、地元小学校などでの福祉学習などの教育活動への取り組みを増やす。

親同士や支援者同士で話をできる場の設定など、気軽に集まれて話ができる機会を増やす。



6年7月13日 海で遊ぼう（1日目）



6年7月14日 海で遊ぼう（2日目）



7年1月19日 雪で遊ぼう！



7年2月2日 デュアルスキーパイロット